

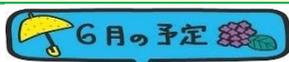


実りある研究・研修に！

下野市学校教育サポートセンターの学校訪問では、大変お世話になりました。各学校を訪問させていただき、先生方が子どもたちに寄り添い、指導・支援をしてくださっていることを改めて感じることができました。ありがとうございました。

さて、6月は校内外での研究・研修がますます本格化していく時期です。子どもたちのため、先生方のためになる、実りある研究・研修となるよう、教育研究所も努めてまいります。

今月は、修学旅行や宿泊学習、授業参観、部活動の大会など、各学校では様々な行事が予定されています。先生方も万全な体調で子どもたちの指導に当たることができるよう、健康管理には十分ご注意ください。



※ 時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

○市教育研究所主催行事 ○市関係行事 ○学校関係行事 ○その他

月	火	水	木	金	土	日
			1 修学旅行 (南河内小中後期、古山小) 宿泊学習 (石小) ~6/2	2 幼小連絡協議会 総会・研修会① 15:00	3	4
5 教科書選定委員会① 14:00	6 栄養教諭・学校栄養職員研修 13:30 修学旅行 (緑小) 修了旅行 (南河内小中前期) ~6/7	7	8 児童・生徒指導研修① 14:00 下地区特別支援学級担当研修会 13:30 下都賀庁舎 教頭会 14:00 修学旅行 (石小) ~6/9	9 教科書センター展示会 事前展示~6/13 ALT研修② 14:00 下地区総体~6/25	10	11
12 市小学校校長会 養教部会	13 新聞の日①	14 教科書センター 展示会一般展示 ~6/29 小中一貫の日 (南河内小中区)	15 「知事と語ろう!とちぎ元 気フォーラム」(14:00 オン ライン配信) 教育課程事前研修 16:45 宿泊学習 (古山小) ~6/16	16 下地区臨採研 (南河内小中) 13:00	17	18
19 定例教育委員会	20 教育課程事前研修 16:45 石中コミュニケーション デイ	21 市校長会 小中一貫の日 (石中区)	22 下地区初任研 13:00 岩舟小・小野寺小・ 岩舟中 修学旅行 (細谷小) ~6/23	23	24	25
26	27 道徳教育研修 緑小 13:05	28 小中一貫の日 (二中区)	29 定例校長会議 9:00 宿泊学習 (緑小) ~6/30	30 英語教育研究 14:30		



第1回「下野市子ども未来プロジェクト」生徒交流会

5月11日（木）下野市役所にて、中学校・義務教育学校後期課程代表生徒による第1回「下野市子ども未来プロジェクト」生徒交流会を開催しました。

5つのグループに分かれて、昨年度の各校区の取組や今年度の市全体の取組について、活発に協議を行いました。

◆共通テーマ◆

○下野市子ども未来プロジェクト全体のテーマ「つながり」

○取組の内容「いじめ防止」



◆市全体としての取組について

「全児童生徒が、いじめについて、より自分事として考え、話し合う（そして、行動に移す）」

- ・ 今後は、小中交流会や学級での話し合い活動などに向けて生徒会を中心に準備を行い、各校・各中学校区で工夫しながら活動を進めていくこととなります。先生方のサポートをよろしくお願いいたします。

【参加した生徒の感想】

- ・ 各学校が行っている行動や向かっている方向は同じでも、方法が違って様々なやり方があるのだと感じた。
- ・ 自らが進んで話し合いをしていくことが大切だと思った。自分の意見を発信し、相手の意見を吸収できる話し合いはとても良いと感じた。
- ・ 同じ目標に向かっているということが、話し合いの活性化になったと感じた。
- ・ 自分にはない視点で考えていて、他校との共有の大切さを感じた。今までより前向きな気持ちで話し合うことができた。



食物アレルギー研修会

5月11日（木）緑小学校にて、グリムこどもとアレルギーのクリニック院長 福田典正先生を講師にお迎えして「学校給食と食物アレルギー研修会」を開催しました。研修前半は、症状から見た食物アレルギーとアナフィラキシーとの違いやエピペン適用の判断となる症状などについて、具体的なお話をいただきました。後半は、エピペントレーナーを使用し、ケースに応じた緊急時の対応について実習を行いました。

【研修に参加された先生方の感想】

- ・ 自分自身も学び続けることが、子どもたちの命を守ることにつながることを再確認できた。
- ・ 分単位で状況が変わっていくため、適切な対応、迅速な対応が大切なことを学んだ。
- ・ 現場で何をどのように判断し、思考し、行動すべきかを明確に教えていただけでよかった。



特別支援教育コーディネーター研修

5月16日（火）下野市役所にて、国立特別支援教育総合研究所 玉木宗久研究員を講師にお迎えして「特別支援教育コーディネーター研修会」を開催しました。研修前半は、校内委員会の運営の実際について、ロールプレイを交えて考えるとともに、コーディネーターの役割を確認しました。後半は、インクルーシブ教育システムや地域支援事業の実践事例の紹介など、具体的なお話をいただきました。

【研修に参加された先生方の感想】

- ・ コーディネーターの役割を再認識した。担任の先生方、児童生徒、保護者の困り感に寄り添えるようになりたい。
- ・ 対応に困っている担任の先生方を孤立させないために、何でも話し合い、よりよい手立てを考えていけるような校内委員会を行っていききたい。
- ・ チームや組織で対応することの大切さを感じた。先生方が相談しやすい体制づくりを心掛けていきたいと思う。

